

学び続ける教師を支える 自己診断シート

このシートは、自らの教職としての資質能力を振り返り、目標の設定やその実現に向けた学びの見通しをもつことができるサポートツールです。

子どもたち一人一人の可能性を引き出すために学び続ける教師を目指し、校内研修や自己研鑽の機会でご本シートを活用してください。

自己診断シートの使い方

① 入力シートで自己診断をします。

入力シート		「北海道における教員育成指標」自己診断シート【養成段階編】			
入学者名:		氏名:		学年: () 年	
求める 教員像	キーとなる資質能力	自己診断項目 (期待される具体的姿)	自己評価		
			前期 2023/4/7	後期 2023/11/27	
教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員	教育的愛情	子ども一人一人に愛情をもち、よきや可能性などに目を向けようとしている。	2	3	
	使命感や責任感・倫理観	子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員として遵守する法令や職務、時代に応じた教育、学校(園)の社会的役割・役割等を理解している。	3	4	
	総合的人間力	社会等様々な道徳、人間性、社会性、徳を身に付けている。	3	4	
	教職に対する強い情熱・人権意識	人権意識に基づき、地域のボランティア活動や実習先の学校(園)の教育活動において、全ての子どもを尊重しようとしている。	3	3	
	主体的に学び続ける姿勢	科学的な位置付けや、情報の収集・選択・活用的重要性を理解している。	2	3	

各教員が育成指標の「期待される具体的姿」ごとに、1～4の4段階で自己評価をします。

② 分析シートで自己分析をして、今後の学びの見通しをもちます。

前期		「北海道における教員育成指標」自己診断シート【養成段階編】									
<p>【自己診断結果の分析】※自己診断結果と実践の振り返りを踏まえ、自身の強みや弱み、その要因を記入</p> <p>強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(例)「特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応力」が高いので、今後も伸ばしていきたい。 ・(例)大学の講義の中で、特別支援教育に対する理解を深めるとともに、ゼミンティア活動で障がいがある子どもとの触れ合いを経験したことで成果が見られる。 <p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(例)「組織的・協働的な課題対応・解決能力」が低いので、組織的・協働的な対応に向けた資質・能力を高める必要がある。 ・(例)学校が組織的に教育活動を進めていることについての理解が不十分であり、教育実習等で、学校における組織的な取組の重要性について理解を深めたい。 											
<p>【今後、向上を目指したい資質能力】※自己診断結果を踏まえ、特に向上を目指したい資質能力(プルダウンで選択)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>向上を目指したい資質能力</th> <th>自己研鑽の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使命感や責任感・倫理観</td> <td>教育実習</td> </tr> <tr> <td>教科等(保育)や教職に関する専門的な知識・技能</td> <td>大学の講義</td> </tr> <tr> <td>主体的に学び続ける姿勢</td> <td>オンデマンドの視聴</td> </tr> </tbody> </table>				向上を目指したい資質能力	自己研鑽の方法	使命感や責任感・倫理観	教育実習	教科等(保育)や教職に関する専門的な知識・技能	大学の講義	主体的に学び続ける姿勢	オンデマンドの視聴
向上を目指したい資質能力	自己研鑽の方法										
使命感や責任感・倫理観	教育実習										
教科等(保育)や教職に関する専門的な知識・技能	大学の講義										
主体的に学び続ける姿勢	オンデマンドの視聴										

入力シートに数値を入力すると、自動的にレーダーチャートに示され、自己診断結果が可視化されます。

レーダーチャートの結果を基に、自身の強みや弱み、その要因などについて、自己分析欄に整理します。

自己分析結果や日常実践の振り返りを踏まえて校長との面談を行い、校長から受けたアドバイスなどを整理します。

自己診断結果やアドバイスを踏まえ、自身が向上を目指したい資質能力を明確にします。